

(実施要綱様式第1号／育成支援型)

平成30年度福岡県新製品・新技術創出研究開発支援事業提案書

提案区分 【 育成支援型 】

平成30年4月 日

株式会社久留米リサーチ・パーク

代表取締役社長 石丸 茂夫 殿

提案事業者名 株式会社〇〇〇

代表者職・氏名 代表取締役 〇〇 〇〇印

福岡県新製品・新技術創出研究開発支援事業実施要綱第8条の規定に基づき、平成30年度福岡県新製品・新技術創出研究開発支援事業の育成支援型に提案します。

記

1. 研究開発テーマ名

2. 事業の目的及び内容

別紙（様式第1号－2～7）のとおり

3. 事業費総額及び受託申請額（税込で記載ください。）

平成 年度の事業費総額 円

平成 年度の受託申請額 円（事業費総額の2/3以内）

4. 共同研究者

〇〇大学 〇〇学部

株式会社〇〇〇〇

※個人で提案される方は、提案企業名欄に「個人」と記載し、代表者職氏名欄に氏名を記載する。

※採択された場合、提案者名及び共同研究者名は、採択発表等の際に公開の対象とする。

(様式第1号-2)

事業總括表

研 究 開 発 テーマ名（注１）	〇〇タンパク質の〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇開発			
研究開発の要約 （注１）	※研究開発の目的、内容の概要等を１２０字以内で記載する。			
研究開発の目的				
研究開発の概要				
事業受託希望期間	平成３０年　５月　１日　～　平成３２年　２月２９日 ※育成支援型の受託希望期間は２年以内とする。			
研 究 開 発 に 係 る 事 業 費 （単位：千円）	年　　　　 度	３０年度	３１年度	計
	総 額	６，４８０，０００	６，４８０，０００	１２，９６０，０００
	受託申請額 （総額の２／３以内)	４，３２０，０００	４，３２０，０００	８，６４０，０００
研 究 開 発 の 実 施 場 所	※主要な研究場所を記載、複数可 株式会社〇〇〇、〇〇大学			
事業統括責任者	(氏名) 〇〇 〇〇 (所属 職名) 〇〇部 部長 (連絡先) 〒：〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇〇市〇〇〇番〇〇号 TEL: 09〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇 FAX: 09〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇 E-mail: 〇〇〇@〇〇〇〇〇.co.jp			
他の助成の状況	※当該実施テーマに関連して、他の助成を受けた実績、あるいは申請中のものがあれば、その名称、期間、予算を記載する。			

(注1) 採択された場合、「研究開発テーマ名」「研究開発の要約」は採択発表等の際に公開の対象とする。

※「研究開発に係る事業費」の「総額」には、当該年度の開発全体に要する費用の総額を記入し、「受託希望額」には当該年度の受託希望額を記載する。

事業化計画	
研究開発する製品 又はサービス等	
1. 製品又はサービスの内容と研究開発スケジュール（具体的に記述する。） ①製品化する企業名 ②時期 ③想定ユーザー及び用途 ④スケジュール 2. 開発製品に関する市場性・市場規模	

※総括表の用紙はA 4 版縦位置とし、2 枚にまとめる。

(様式第1号-3)

提 案 者 概 要

企 業 名	※個人の場合は「個人」と記載する。 株式会社□□□□□			
代 表 者 職 氏 名	※提案者職氏名を記載する。 代表取締役 ○○ ○○			
所 在 地	※郵便番号、住所、電話番号、FAX 番号を記載する。 〒:○○○-○○○○ ○○○市○○○番○○号 TEL: 09○-○○○-○○○○ FAX: 09○-○○○-○○○○			
研究開発の主な 実施場所(施設)	※郵便番号、住所、電話番号、FAX 番号を記載する。 〒:○○○-○○○○ ○○○市○○○番○○号 TEL: 09○-○○○-○○○○ FAX: 09○-○○○-○○○○			
資 本 金	※提案時点での資本金額を記載する。 ○○,000,000 円			
従 業 員 数	※提案時点での全社の従業員数と当該事業を実施する事業所の従業員数を記載する。 全社 ○○名 実施事業所 ○○名			
事 業 内 容	※経営での主な事業及び生産品目名等を記載する。 機能的食品の開発、製造、販売			
企 業 の 沿 革	※設立から現在に至るまでの略歴を記載する。 平成 2 年 6 月 当社設立 平成 2 年 6 月 登記 平成 2 年 1 0 月 自社開発製品として「○○○」を開発、発売 平成 1 3 年 4 月 本社ビル オープン 平成 1 4 年 3 月 ○○社と技術提携 平成 1 5 年 4 月 資本金を○○○○万円に増資			
業 績	期 別	売 上 高	当期純利益	利益剰余金
※過去 2 期分	平成 年 月 期	○○○万円	○○○万円	○○○万円
	平成 年 月 期	○○○万円	○○○万円	○○○万円
保 有 設 備	※保有する主な設備機器で、委託事業に関連するものを記載する。 高速液体クロマトグラフ、恒温インキュベーター、クリーンベンチ			
研究開発統括 責 任 者	※研究開発統括責任者の所属、職名、氏名及び連絡先(TEL、FAX、E-mail アドレス)を記載する。※研究開発統括責任者は、事業統括責任者と同一者でも可 (氏名) ○○ ○○ (所属 職名) ○○部○○課長 (連絡先) TEL: 09○-○○○-○○○○ FAX: 09○-○○○-○○○○ E-mail: ○○○@○○○○.co.jp			
研究開発担当者	※研究開発担当者の所属、職名、氏名を記載する。 ○○部 ○○課 主任研究員 ○○ ○○ ○○部 ○○課 研究員 ○○ ○○			
経 理 担 当 者	※当該事業の経理の主担当者の所属、職名、氏名及び連絡先(郵便番号、住所、TEL、FAX、E-mail アドレス)を記載する。			

	(氏名) ○○ ○○ (所属 職名) ○○部○○課 課長 (連絡先) 〒:○○○-○○○○ ○○○市○○○番○○号 TEL: 0 9 ○-○○○-○○○○ FAX: 0 9 ○-○○○-○○○○ E-mail: ○○○@○○○○.co.jp
添 付 資 料	※会社案内パンフレット等を添付する。

※提案者概要の用紙はA 4 版縦位置とし、1 枚にまとめる。

(様式第1号-4)

共同研究機関の概要（企業用）

企 業 名	株式会社□□□□□			
代表者職氏名	代表取締役社長 ○○ ○○			
所 在 地	※郵便番号、住所、電話番号、FAX 番号を記載する。 〒:○○○-○○○○ ○○○市○○○番○○号 TEL: 0 9 ○-○○○-○○○○ FAX: 0 9 ○-○○○-○○○○			
共同研究の実施 場所（施設）	※郵便番号、住所、電話番号、FAX 番号を記載する。 〒:○○○-○○○○ ○○○市○○○番○○号 TEL: 0 9 ○-○○○-○○○○ FAX: 0 9 ○-○○○-○○○○			
資 本 金	※提案時点での資本金額を記載する。 ○○, 000, 000 円			
従 業 員 数	※提案時点での全社の従業員数と当該事業を実施する事業所の従業員数を記載する。 全社 ○○名 実施事業所 ○○名			
事 業 内 容	※経営での主な事業及び生産品目名等を記載する。 機能的食品の開発、製造、販売			
企 業 の 沿 革	※設立から現在に至るまでの略歴を記載する。 平成 元年 6 月 当社設立 平成 元年 6 月 登記 平成 2 年 1 0 月 自社開発製品として「○○○」を開発、発売 平成 1 0 年 4 月 営業所を○○県○○市に開設 平成 1 5 年 3 月 本社を○○市に移転、自社ビルオープン			
業 績	期 別	売 上 高	当期純利益	利益剰余金
※過去 2 期分	平成 年 月 期	○○○万円	○○○万円	○○○万円
	平成 年 月 期	○○○万円	○○○万円	○○○万円
共同研究責任者	※企業内で共同研究の取りまとめを行う担当者の所属、職名、氏名及び連絡先（TEL、FAX、E-mail アドレス）を記載する。 (氏名) ○○ ○○ (所属 職名) ○○部 ○○課長 (連絡先) TEL: 0 9 ○-○○○-○○○○ FAX: 0 9 ○-○○○-○○○○ E-mail: ○○○@○○○○.co.jp			
研 究 担 当 者	※共同研究責任者以外の研究担当者の所属、職名、氏名を記載する。 ○○部 ○○課 研究員 ○○ ○○ ○○部 ○○課 研究員 ○○ ○○			
添 付 資 料	※会社案内パンフレット等を添付する。			

※共同研究機関の概要の用紙はA4版縦位置とし、1枚にまとめる。

※共同研究（企業用）が無い場合は、表全体を斜線で処理する。

(様式第1号－5)

共同研究機関の概要（大学・公的試験研究機関等用）

大 学 等 名	△△△△大学
代 表 者 職 氏 名	学長 ○○ ○○
所 在 地	※郵便番号、住所、電話番号、FAX 番号を記載する。 〒:○○○-○○○○ ○○○市○○○番○○号 TEL: 0 9 ○-○○○-○○○○ FAX: 0 9 ○-○○○-○○○○
共 同 研 究 の 実 施 部 署	※実際に共同研究を行う学部・学科等の名称、郵便番号、住所、電話番号、FAX 番号を記載する。 ○○学部○○学科 〒:○○○-○○○○ ○○○市○○○番○○号 TEL: 0 9 ○-○○○-○○○○ FAX: 0 9 ○-○○○-○○○○
共同研究責任者	※大学等における共同研究のとりまとめを行う担当者の所属、職名、氏名及び連絡先（TEL、FAX、E-mail アドレス）を記載する。 (所属 職名) ○○学部 教授 (氏名) ○○ ○○ (連絡先) 〒:○○○-○○○○ ○○○市○○○番○○号 TEL: 0 9 ○-○○○-○○○○ FAX: 0 9 ○-○○○-○○○○ E-mail: ○○○@○○○○.ac.jp
研 究 担 当 者	※共同研究責任者以外の研究担当者の所属、職名、氏名を記載する。 ○○学部 助教 ○○ ○○
研 究 分 野 と 主 な 研 究 実 績	※研究担当者（共同研究責任者を含む）の主な研究分野と提案課題に関連する研究実績を記載する。 例) ○○学部 教授 ○○ ○○ 分子生物学 タンパク質の分子認識能が主な研究分野。特に生体内での○○タンパク質の新規機能について解明した。○○タンパク質の医薬開発や他分野への応用について研究中。 例) ○○学部 助教 ○○ ○○ 細胞生物学 細胞の機能発現と制御機構について研究している。最近、生体内での○○タンパク質の新規機能について解明した。○○タンパク質の細胞内選別輸送、オルガネラ形成、生体膜形成などについても研究している。
添 付 資 料	※大学の案内パンフレット等を添付する。

※共同研究機関の概要の用紙はA4版縦位置とし、1枚にまとめる。

※共同研究（大学・公的試験研究機関等用）が無い場合は、表全体を斜線で処理する。

※大学・公的試験研究機関の案内はホームページを印刷したものでも可。

(様式第 1 号－ 6)

事業費収支予算書

◇収入の部

税込(単位:円)

区 分	平成 3 0 年度予算額	平成 3 1 年度予算額	備 考
自己資金	2, 1 6 0, 0 0 0	2, 1 6 0, 0 0 0	
借入金等	0	0	
受託事業費	4, 3 2 0, 0 0 0	4, 3 2 0, 0 0 0	受託申請額(税込)を 記入する
合 計	6, 4 8 0, 0 0 0	6, 4 8 0, 0 0 0	

30 年度予算額の内訳を記載する。

◇支出の部

税込(単位:円)

区 分	平成 3 0 年度予算額	平成 3 1 年度予算額	備 考
機械装置・備品 購入費			機械装置名・単価記載
人件費			
原材料費・消耗 品費			主な品名を記載
旅費			主な出張先を記載
外注費			委託内容・委託先を記載
共同研究等の 経費			共同研究先名を記載
産業財産権の 出願等の経費			産業財産権を支出す る場合の経費を記載
その他の経費			経費内容を記載
合 計	6, 4 8 0, 0 0 0	6, 4 8 0, 0 0 0	

※支出と収入の合計額は、一致する。

※収支予算書の用紙は A 4 版縦位置とし、1 枚にまとめる。

(様式第 1 号－ 7)

事業内容説明書

※事業内容説明書の用紙はA 4 版縦位置とし、項目 1 ～ 4 は 8 枚以内にまとめる。

1. 研究開発テーマ名

2. 研究開発の内容

※研究開発の内容の (1) ～ (4) については、A 4 で 2 枚以上 4 枚程度にまとめる。

(1) 研究開発の目標 (目標の明確さ、実現可能性を審査します)

※研究開発の最終目標を記載。最終的な製品、技術について、必ず数値を用いて具体的に記載する。

【本事業終了後目標】

※本年度の研究開発の目標を記載。必ず数値を用いて具体的に記載する。

【本年度の目標】

(2) 研究開発の具体的な内容 (方法・遂行能力を審査します)

※実施する内容について、次の項目について記載する。

項目は 3 項目記載していますが、必要に応じて、追加・削除してご記入ください。

1) サブテーマ 1 (サブテーマ名を記載してください。)

- ①実施内容 (どのような設備を使用し、どのような方法で何を行うのか)
- ②目標 (できるだけ数値等をあげる)
- ③研究開発担当機関・担当者名

2) サブテーマ 2 (サブテーマ名を記載してください。)

- ①実施内容 (どのような設備を使用し、どのような方法で何を行うのか)
- ②目標 (できるだけ数値等をあげる)
- ③研究開発担当機関・担当者名

3) サブテーマ 3 (サブテーマ名を記載してください。)

- ①実施内容 (どのような設備を使用し、どのような方法で何を行うのか)
- ②目標 (できるだけ数値等をあげる)
- ③研究開発担当機関・担当者名

(3) 研究開発体制図

(4) 研究開発スケジュール

※実施項目の日程を——で記載する。

※他の実施項目の結果に基づき実施する項目については、それらの関係を……→で明示する。

※研究開発の進捗管理を行うためのチェックポイントを表中に a、b、c等で明示し、表の下にそのチェック内容を記載する。

平成30年度（初年度）

サブテーマ名	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
DNA解析技術の開発	——	——	——	——	——	——			
DNAチップ作製装置の設計							——	——	——
高速スポッティング装置の開発		——	——	——	——	——	——	——	——

(チェックポイント)

※各チェックポイントのチェック内容を、数値等をあげて簡潔かつ具体的に記載する。

- a 読み取り量（目標値：700bp 以上）
- b スポッティング速度の評価（目標値：6,000 個／分）
- c スポッティング速度の評価（目標値：10,000 個／分）

平成31年度（次年度）

サブテーマ名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月

(チェックポイント)

※各チェックポイントのチェック内容を、数値等をあげて簡潔かつ具体的に記載する。

(5) 研究開発の新規性、競争優位性 (新規性、研究開発要素の有無を審査します)

※当該技術の背景、新規性、既存技術に対する競争優位性について記載する。

※実施しようとする研究開発を取り巻く産業や技術の現状について記載する。

※類似の既存技術又は製品の性能や用途、技術的及び経済的な問題について記載する。

※研究開発により、類似の既存技術又は製品の欠陥をどのように改善できるか等について、具体的に記載する。

(6) 研究開発の権利化の見通し (事前調査、基礎研究について審査します)

※類似の研究開発について、他企業、大学等の研究開発及び知的財産権の動向と当該研究開発の関連について記載する。

(7) 基礎となる技術及び研究（導入技術を含む）

(事前調査、基礎研究について審査します)

※研究開発テーマごとに、次の項目について記載する。

1) 題目（技術又は研究）

①主要担当者

②研究内容と成果（具体的に記載）

2) 題目（技術又は研究）

①主要担当者

②研究内容と成果（具体的に記載）

※特に、特許の出願、取得等について成果を記載する。

※特許については、名称、出願番号、又は取得年月日も記載する。

3. 事業化計画 (実用化に向けた研究開発かどうか審査します)

(1) 事業化内容

※研究開発成果を具体的にどのような製品・サービスとして事業化するのかを記載する。

(2) 事業化内容の競争優位性

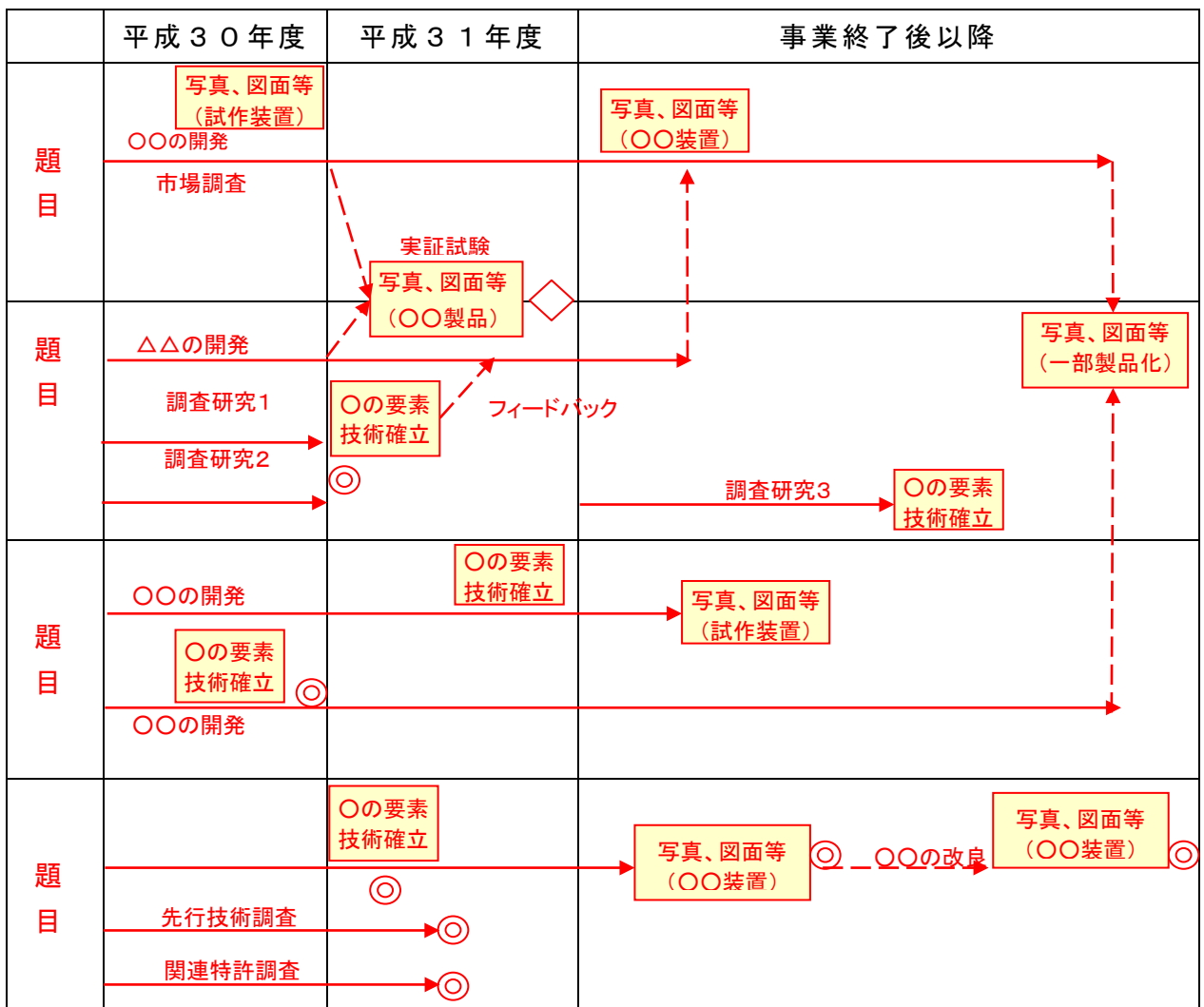
※既存製品及び競合製品等との比較、競争優位性を具体的に記載する。

(3) 市場規模

※具体的に数値を上げて、参入市場規模及び市場シェアの獲得目標を記載する。

(4) 事業化ロードマップ

▲：成果評価 ◎：国内特許出願 ◇：海外特許出願 ■：マイルストーン



(5) 事業化に伴う課題とその対応策

※新規事業開始後のリスク、その対応策及び資金調達、事業提携計画等を記載する。

4. 事業により期待される効果

※経済的効果、バイオテクノロジー関連産業に及ぼす波及効果について、具体的に記載する。

※県内産業への経済的・技術的波及効果についても記載する。

5. 他の助成制度への提案及び実績

(1) 他の助成制度への提案

※他の助成制度へ当該テーマ又は類似テーマの提案を行っている場合は記載する。

※該当しない場合は、表全体を斜線で処理する。

(1)実施者及び構成メンバー、エフォート		%
(2)制度の所管		
(3)制度名		
(4)課題名		
(5)助成期間、金額	(単位：千円)	
(6)実施状況		
(7)本提案との関連性		

(2) 過去における実績

※過去3年間に終了した助成事業等を記載する。

※該当する助成事業が多い場合は、表を追加しての記載可。

※該当しない場合は、表全体を斜線で処理する。

(1)実施者及び構成メンバー	
(2)制度の所管	
(3)制度名	
(4)課題名	
(5)助成期間、金額	(単位：千円)
(6)本提案との関連性	

6. 研究開発内容の概要（ポンチ絵）

※研究開発の目的、内容の概要、事業化等をA4版縦1枚にまとめて図示する。

